

可児市公共施設の温室効果ガス排出量の公表

2021年度の可児市公共施設における温室効果ガスの排出量は、6,103,586kg-CO₂となり、基準年度(2013年度)から16.8%の削減となりました。

前年度と比較し、ガソリンやLPG、都市ガスなどにおいてCO₂排出量がやや増加しました。これはコロナ禍から社会経済活動が徐々に正常化したことに伴い、可児市公共施設においても使用量が増加したためだと考えられます。

用途	排出源	2013年度 CO ₂ 排出量	2022年度 CO ₂ 排出量	2022年度 2013年度比増減(増減率)
施設	電気	6,215,693 kg-CO ₂	5,198,402 kg-CO ₂	▲ 1,017,291 kg-CO ₂ (▲16.4%)
	LPG	131,590 kg-CO ₂	93,068 kg-CO ₂	▲ 38,522 kg-CO ₂ (▲29.3%)
	都市ガス	114,138 kg-CO ₂	167,653 kg-CO ₂	53,515 kg-CO ₂ (46.9%)
	灯油	675,012 kg-CO ₂	494,479 kg-CO ₂	▲ 180,533 kg-CO ₂ (▲26.7%)
	A重油	79,376 kg-CO ₂	- kg-CO ₂	▲ 79,376 kg-CO ₂ (皆減)
公用車	ガソリン	109,875 kg-CO ₂	130,096 kg-CO ₂	20,221 kg-CO ₂ (18.4%)
	軽油	13,328 kg-CO ₂	19,886 kg-CO ₂	6,558 kg-CO ₂ (49.2%)
	LPG	1,613 kg-CO ₂	- kg-CO ₂	▲ 1,613 kg-CO ₂ (皆減)
合計		7,339,013 kg-CO ₂	6,103,584 kg-CO ₂	▲1,109,462 kg-CO ₂ (▲15.1%)

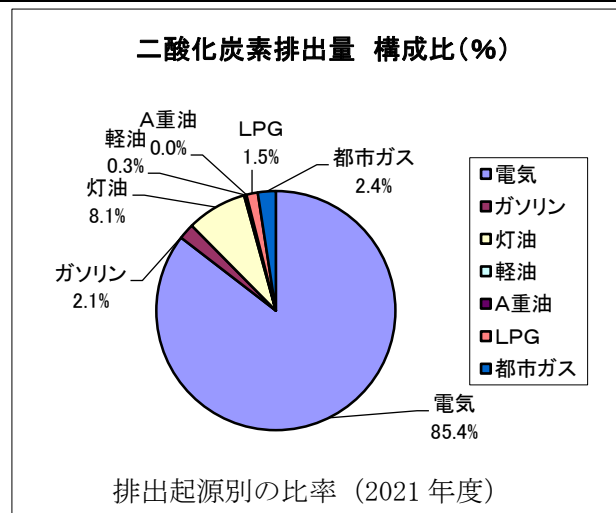
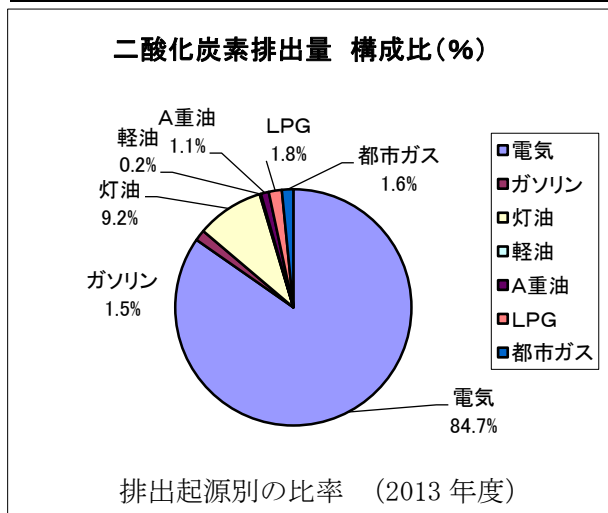


図1 排出起源別の温室効果ガス排出比率

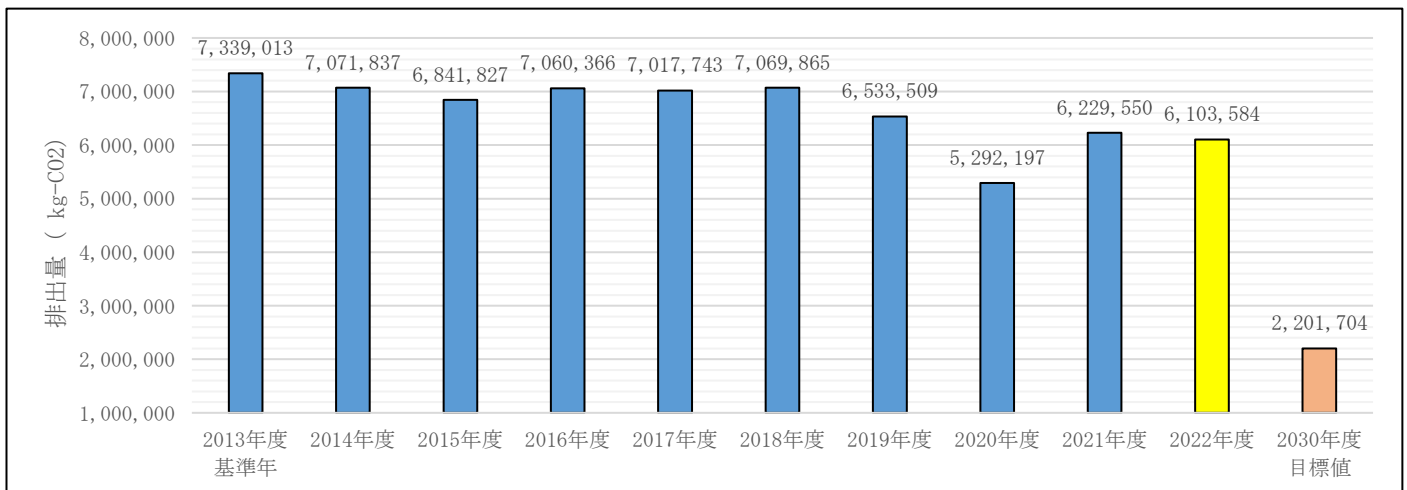


図2 年度別温室効果ガス排出量